

「知」の集積と活用によるイノベーションの創出

【令和4年度予算概算決定額 3,968 (4,151) 百万円】

<対策のポイント>

農林水産・食品分野におけるオープンイノベーションを促進するため、農林水産省が開設した『「知」の集積と活用の中』において、**様々な分野の多様な知識・技術等の連携**を図ります。

<事業目標>

- 基礎研究ステージ及び応用研究ステージにおける実施課題の70%以上において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出
- 開発研究ステージにおける実施課題（海外で実証試験を実施するものを除く）の80%以上において、商品化・事業化が有望な研究成果を創出
- 開発研究ステージにおける海外での実証試験を実施する課題のうち、60%以上において海外での普及性、発展可能性のあるモデル事例を創出

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 「知」の集積による産学連携推進事業

『「知」の集積と活用の中』における協議会の運営、研究開発プラットフォームから生み出された**研究成果を海外へ展開するためのセミナー等の開催**、バイオエコノミーの推進に資するプロデューサー人材への支援等、**イノベーションの創出に向けた取組を支援**します。

2. イノベーション創出強化研究推進事業（提案公募型研究事業）

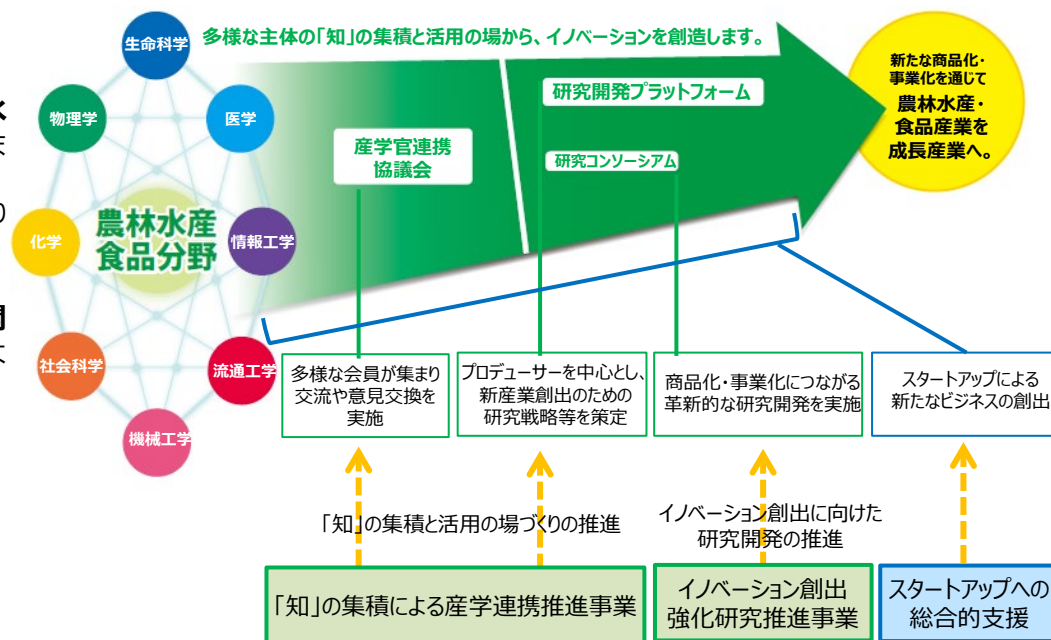
『「知」の集積と活用の中』からの提案など、**異分野のアイデア・技術等を農林水産・食品分野に導入し、革新的な技術・商品・サービスを生み出す研究を支援**します。さらに、**研究成果の迅速な実用化・事業化を図る実証研究を支援**します。

※ 『「知」の集積と活用の中』の研究開発プラットフォームからの提案には優遇措置あり

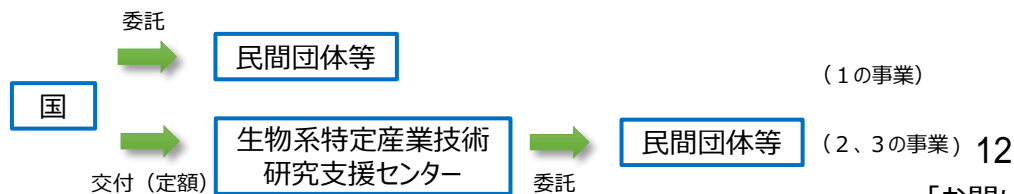
3. スタートアップへの総合的支援

新たな日本版SBI R制度を活用し、**サービス事業体の創出、新たな技術開発・事業化を担うスタートアップを切れ目なく支援**します。また、若手研究者等による**「創発的研究」の取組を支援**します。

「知」の集積と活用の中
〔農林水産・食品分野に様々な分野のアイデア・技術等を導入した
産学官連携研究を促進するオープンイノベーションの中〕



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-5530)

＜事業のスキーム＞

＜事業のポイント＞

○ イノベーション創出強化研究推進事業

基礎研究ステージ

革新的なシーズを創出する独創的でチャレンジングな基礎研究

- チャレンジ型(大学、高専等)
研究委託費：1,000万円以内/年
研究期間：1年以内
構成員：コンソーシアム又は単独

※2

- 基礎研究型(大学、民間企業等)
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
構成員：コンソーシアム又は単独

応用研究ステージ

基礎研究で創出された研究シーズを基にした応用研究

- 基礎研究発展型(大学、民間企業等)
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
構成員：コンソーシアム

※2

- 産学連携構築型(大学、民間企業等)
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
構成員：コンソーシアム
(民間企業はマッチングファンド方式※3を適用)

※3 マッチングファンド方式とは
新たな商品、便益等の開発を行う民間企業等が研究費の一定割合を負担する仕組み

開発研究ステージ

応用研究等の成果を社会実装するための開発研究

- 実用化研究型(大学、民間企業等)
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
(育種研究は5年以内)
構成員：コンソーシアム
(民間企業参画必須)

※2

- 導入等実証強化型(大学、民間企業等)※4
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
構成員：コンソーシアム
(民間企業はマッチングファンド方式を適用)

- 現場課題解決型(大学、公設試等)
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
(育種研究は5年以内)
構成員：コンソーシアム

- 開発技術海外展開型
研究委託費：3,000万円以内/年
研究期間：3年以内
構成員：民間企業主体のコンソーシアム

※4 R4年度から導入等実証強化型を新たに追加

1 「知」の集積と活用場の研究開発プラットフォームからの、多様な分野が参画する提案については以下の優遇措置を実施

- ① 研究委託費上限額の拡大※5
(5,000万円あるいは1.5億円※6以内/年)
※5 基礎研究ステージのチャレンジ型は対象外
※6 1.5億円以内/年は、開発研究ステージの実用化研究のみ
- ② 応用研究ステージの産学連携構築型および開発研究ステージの実用化研究型において研究期間の延長(5年以内)
- ③ 採択審査時に加算

2 応用研究及び開発研究ステージにおいて、マッチングファンド方式を適用する提案については優遇

3 開発研究ステージの導入等実証強化型において、大規模な試作製造や導入試験等を行う実証試験を支援

※1 () の前年度予算には、「知」の集積と活用場による革新的技術創造促進事業及び農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業の継続課題予算を除く。

※2 基礎及び応用研究ステージにおいて、優れた研究成果を創出した研究課題は、移行審査によりステージ内移行や次のステージへ優先的に採択を実施。(予算の範囲内)

＜事業の流れ(研究課題の採択等)＞

- ①公募
- ②応募
- ③審査・採択
- ④採択された課題は委託費を受けて研究を実施